

改善の考え方



改善のヒント

- ✓ やりにくい
- ✓ 何度もやっている
- ✓ 危ない

➡ 気付くことが、改善の第一歩。

改善とは、楽をするためではなく、無駄な苦勞を減らすため。
作業しながら、少しずつやりやすくしていくこと。

① 動線を見る

ムダな動きを見つけてみる。



- ✓ 探していないか
- ✓ 歩きすぎていないか
- ✓ 持ち替えていないか
- ✓ 迷っていないか

② 整理整頓をする

必要な物を、必要な場所にそろえてみる。



- ✓ すぐに使える
- ✓ すぐに戻せる
- ✓ 誰でもわかる
- ✓ 探す時間が減る
- ✓ 作業がスムーズになる

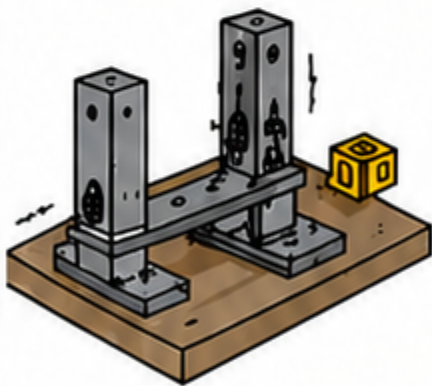


動線と整理整頓は、2つで1つ。

動線が整うと、整理整頓しやすい。
整理整頓ができると、動線も乱れない。

③ 治具を考える

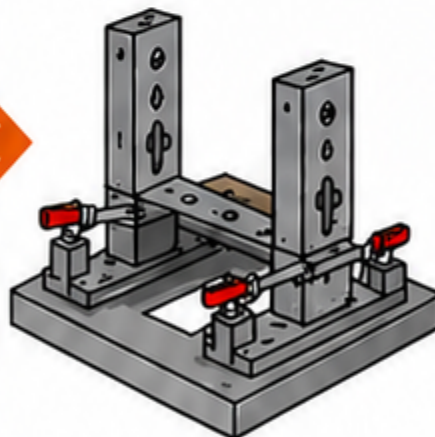
同じ作業を繰り返すなら、治具を作れないか考えてみる。



- ✓ 同じ位置でできる
- ✓ 同じ品質になる
- ✓ 誰がやっても同じになる
- ✓ 手で押さなくていい
- ✓ やり直しが減る

④ 後戻りを防ぐ

やり直しが発生しない仕組みを考えてみる。



- ✓ 組み間違いを防ぐ
- ✓ 寸法ズレを防ぐ
- ✓ 向き・反転ミスを防ぐ
- ✓ 後戻りを防ぐ
- ✓ 無理な動きをなくす



治具は、後戻りを防ぐための工夫。治具を使うことで、後戻り・ムダ・ミス・やり直しをなくす。

その結果

作業しやすい現場が、安全につながる。

作業しやすくなる



ムダな動きが減る
疲れにくくなる

ミス・後戻りが減る



やり直しが減る
品質が安定する

体への負担が減る



無理な動きが減る
ケガのリスクが減る

危険が減る



つまづく・ぶつかる
挟まれる・落とす など

その結果、
安全につながる！



自分を守る
仲間を守る
仕事を守る

大切なこと



改善は、特別なことはありません。
作業しながら考え、少しずつ変えていくことが、
作業しやすい現場をつくり、安全な職場につながります。

気付いたことから、
一つずつ。